



COLUMN

鎌倉の猫事情 第九十一話

「女は、悪い男が好き。犬好きは、駄犬が好き」ですって。じゃ、猫好きは、駄猫が好き？ 残念ながら、辞書に駄猫という言葉はありません。駄犬、駄馬、という言葉はあっても駄猫という言葉はありません。名犬、名馬、という言葉はあっても、名猫という言葉ありません。どうだっていいんです、そんな事。猫は大抵似たりよったりで、どうせ大した取り柄もないんです。評価にも値しない存在なのです。著名な動物学者によると、人間が飼育する家畜のなかで、唯一自分の方から家畜となったのは犬なんだそうです。集落を構成し、狩猟で暮らしていた古代の人間達に、やはり集団を構成し狩猟を行っていた犬は共同作業を申し出た？のです。犬から見れば、火を持ち、道具を操って合理的な狩猟をする人間社会に入り込み、共に獲物を追いかけたり、番犬をしたりする協力関係を結ぶことは厳しい自然界に生き残る為の最良の知恵でした・・・と、本に書いてあったのです。なんだか見て来たようなこと言ってますけど。ともかく、犬の祖先は狼で、狼の顔を見るといかにも前時代的な野蠻な顔つきです。これが柴犬や、スピッツや、トイプードルなどの祖先でしょうか、と思いますが、猫の祖先はといえば、前に、貴重な猫の原型である山猫の生写真というのを見たのですが、グーニーとどこが違うんだというほど、変わりない姿です。先の動物学者は、動物を家畜と野生に分けて観察しているのですが、猫は、そのどちらにも入らないのだそうです。それだけで、その学者の本にはそれ以上猫の記述はありません。どうやら猫には全く興味がないようです。がっかりです。動物学者にも相手にされていないなんて。でも本は面白かったです。コンラート・ローレンツ博士の「ソロモンの指輪」です。博士は、犬と鳥が特にお好きなようでした。猫のように、何の努力もせず、無理もせず、従って何の進歩も進化もない存在には、興味が持てない



のでしょね。それはそうでしょう。苦勞してせつかく見つけた猫の原種だって、グーニーとさほど変わらないんですから。膨大な時間と、手間隙かけて観察して、結局なんの成果もなしでは・・・まあ、呑気でいいですけどね・・・

————to be continued

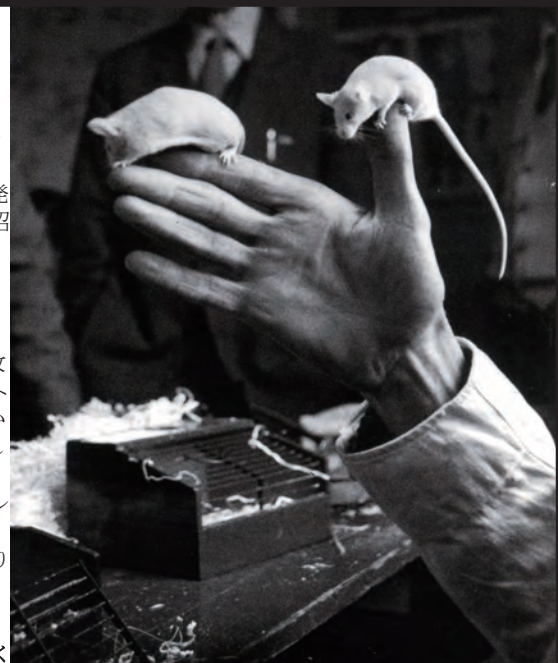
Café good bye! Milk Hall

No.2 ミルクホールの始まり

現在のミルクホールのこの場所で、1972年6月彫金のアトリエを仲間と開く。ここは自宅であり、1階はマスターの父が経営する学習塾でした。12月、自宅前のガレージだった場所に、マスターと父の二人で土台からなにかも手作りで、彫金アクセサリーの店を完成させる。これがミルクホールの出発点でした。その後父が体調を崩した為、塾を閉める事になり、空いた1階の広いスペースで、大正・昭和初期の造りを再現した喫茶店ミルクホールを開店させる決意を固めたのでした。1972年は、年明け1月、佐藤・ニクソン会談による共同声明で沖縄返還決定、同月、グアム島密林内で元日本兵横井正一さん発見、救出される。2月には、札幌で冬季オリンピック開幕、同月連合赤軍による浅間山荘事件、佐藤内閣退陣、7月第一次田中角栄内閣成立と、歴史が激しく揺れ動いた年でした。と、上野に初のパンダ2頭が来たのもこの年でした。70年安保闘争・ベトナム戦争反対といった激しい政治運動は浅間山荘事件以来急激に冷めて行き、参加していた学生達は散り散りとなり、再び地方へ目を向けて行く者、マグロ船に乗って自らを試そうというブームも起こり、若者は何とか規制の社会からドロップ・アウトしようと、誰も彼もが冷め行く情熱の中でもがいていたような気がします。髪を伸ばしバックパッキングで世界中を歩き回る、ロックとヒッピーに象徴される時代でした。一方で自らの手で何かを造り出そうと、手作りの店が全国のあちこちに現れました。そのブームの中で出来たのが、ミルクホールの前身である彫金アクセサリーの店「フルハウス」でした。今でもミルクホールの壁の飾られている薔薇と葡萄をテーマにした真鍮や銀のアクセサリーを5~6人のスタッフで造り、デザインと造りの完成度を上げていった為評判は上々で注文を受けて小売店へ卸すなど、順調に商売は伸びて行きました。ディスカバー・ジャパンを合言葉に、地方への人気が高まっていました。

そのような背景の中、ミルクホールの建築計画が始まったのです。

次号へ続く





Bar Time

pm 5:30~
pm 9:30
土日祝 pm 10:30

DINNER SET

好評のミルクホールのディナーセット
魚料理と肉料理を、お好みで・・・

オードブル サラダ
メイン ディッシュ
肉料理 和牛ハンバーグ
和牛ビーフカツレツ
魚料理 カジキ鮪ハーフ焼き
パンorライス
季節のデザート
コーヒーor紅茶

pm5:30~pm8:30



¥2200~

LIVE

by HALF MOON

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

11/28 sat.
19:30~

琢磨 仁
琢磨 啓子

HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶 No.41

ミルクホールのルーツ No.27

十数年前のことですが、ミルクホールの縁で知り合い、仲の良い友人となった看護師のTさんから電話があり、「明日、暇？ 骨髄バンクに登録に行くんだけど、一緒に行かない？ ジュース飲ませてくれるんだよ」と、言われ、気軽に「うん、いいよ」と返事をして、横浜のどこだったか、出掛けて登録を済ませました。血液を採るだけの簡単なものでした。色々とその趣旨の内容を記した説明書ももらいましたが、よく理解しないまま時が過ぎていました。「白血病」という病に実感がなかったのです。その数年後義兄が「白血病」に侵されると、聞かされました。葦山の菅原の義父の長男です。義兄は風邪一つひかない丈夫な性質の人でしたから信じられない思いでした。初めの頃の誤診もあり、診断が二転三転した結果の診断でした。家族は、祈るような気持ちで骨髄ドナーを捜し始めました。そこで知ったのは、血液型が違う

事は問題ではないけれど、血縁の中でも自分より年下のものは難しく、実子は調べるまでもないそうです。つまり自分より前の世代の人でなければ合わないそうです。親か兄・姉、といった順なのです。骨髄バンクから提供されるのは、血の繋がりのない他人のドナーですから、見つかる確立が非常に低いということ。もし合ったとしても、将来のある若い患者さんが優先され、義兄のように50歳を過ぎると難しいということ。気の遠くなるようなきびしい現実でした。姉はあきらめきれず、海外のドナーを探す方法も考えましたが、医者からそれも無理だと言われました。実際に骨髄バンクから、見ず知らずの人から提供され命を繋ぐ人もいらっしゃるのですが、骨髄の型が合うという事は、実は先祖を辿って行けば、どこかで必ず交わるはずなのだそうです。全く繋がりがなければ不可能だという事です。骨髄ドナーを探すことは、知らず知らず、自分の血のルーツを辿る道筋なのです。そこでドナーを見つけることは、自らの祖先と、現代で出会う奇跡のようなものなのです。

義兄は3年半の闘病の後、夏の晴れた日の朝容態が急変し、静かに穏やかに息を引き取りました。白い血と戦ったその顔は透明で美しく、まっすぐに違う世界に向かったようでした。

血の繋がりは、私達に何を示唆していたのでしょうか。

人の繋がりの不思議さと、宿命を感じずにはられません。



次号へ続く

Information

ミルクホールタイムス 総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」

ミルクホールタイムスは、1976年の創刊号より100号までをまとめて編集しました。人気連載中の「鎌倉の猫事情」を第一話から、宿敵との勝利で終わる前編の最後まで掲載しています。他に、ミルクホール30余年の歴史にまつわる色々な物語など、楽しめる1冊です。

¥1800



ミルクホールタイムス 定期購読者募集

ミルクホールタイムスは、毎月25日に定期刊行しています。連載中の読み物の他、ライブや蚤の市のミルクホールの催時の最新情報を掲載しています。購読ご希望のお客様には、毎月25日に郵送いたします。

お申し込みは、ミルクホールまで
年間購読料 ¥1500

〒248-0006

鎌倉市小町 2-3-8

PHONE 0467-22-1179

FAX 05034882872

mail info@milkhall.co.jp

ミルクホール 骨董・ガラクタ市

蚤の市

11月の蚤の市のテーマは、
日本・中国・朝鮮の骨董です

11/21 Sat. 22 Sun.

ミルクホールのアンティークは 朝11時 OPEN!
明治・大正時代の日本のものを中心に
古き良き時代の暮らしの中で親まれた品々を揃えています。
また、もともと古い時代、古代の人々の生活の中にあつたもの
が、ほんの偶然に現代にまで残され、私達の手へ渡る事があります。
古代の暮らしや、戦いや、祈りの為の品など、
ミルクホールの、古い古い不思議な品々が今月のテーマです。

..... ミルクホールの骨董 20%off

- ★★★ 中国北齊時代の仏頭
- ★★★ 中国道教の壁画 一部分
- ★★★ アフガン石仏 7世紀頃
- ★★★ 戦国春秋時代 瓦
- ★★★ 高麗徳利 鉄釉
- ★★★ 百済 瓦
- ★★★ 宋時代 古陶
- ★★★ 弥生時代 壺
- ★★★ 李朝 青磁・白磁色々

伊万里・古陶磁
和洋家具
アンティーク
古民芸



♣ 古陶磁

- ★★ 伊万里染付輪花皿5枚組
- ★★ 明治九谷小皿5枚組
- ★★ 古伊万里扇形豆皿5枚組
- ★★ 織部長皿5枚組
- ★★ 明治銅版小皿
- ★★ 明時代染付徳利
- ★★ 伊万里唐草小皿・なます
- ★ 伊万里蓋お碗各種
- ★★ 明治瀬戸石皿・鉢

古布 古裂

✂ 着物

大島紬・絞り・銘仙など
大島紬・琉球紬・銘仙
久留米緋・お召し・縮緬



..... ANTIQUES

◆ アンティーク ♠ 和洋家具

- ☛ 藤田嗣治聖母子像
アンティーク額入り
- ★★ アンティーク額各種
- ★★★ 竹久夢二額入り
- ★★ 明治乳白ガラスシェード
- ★★ 昭和初期照明スタンド各種
- ★★ 額絵・ポスター各種
- ★★ フランス製オイルランプ
- ★★ トランク・バッグ各種
- ★★ 婦人用懐中時計
- ★★ 庄内箆筒3尺各種
- ★★★ 明治水屋箆筒一間 二段
- ★★ 大正時代ガラス水屋 二段
- ★★ カウンターテーブル ミシン脚 2種
- ★★ 明治・大正時代小箆筒各種
- ★★ 明治時代衝立・昭和初期衝立
- ★★ 大正時代ガラスケース各種
- ★★ 明治～昭和文机各種
- ★ 裁縫台各種

♥ 古民芸

- ★★ 大正時代鏡台
- ★★ 漆お椀・茶托・御膳
- ★★ 明治道具箱・樽など
- ★★ 李朝石鍋 珍品
- ★ 常滑壺 ★ 越前壺

✂ 半衿・帯揚げ

無地の半衿 ¥500より
銘仙・絞りなど ¥800より

✂ 帯締め ¥800より

名古屋帯
袋帯

